

# 登壇自治体紹介・課題発表シート

## 旭川市

### ● 未来につなげる文化財の保存と活用

- 貴重な建造物や歴史資料、芸能、工芸技術などの有形・無形の文化財が日本各地にあり、自治体が保存・活用に取り組んでいるものも少なくありません。旭川市では、建物の草刈りや修繕、観覧者対応の体制維持や、染織工芸の技術伝承に課題があり、3Dデジタル技術を活用した保存・活用や、遠隔による施設観覧者対応、PR強化など先端材料・技術を活用した様々なアイデアを求めています。

(担当：旭川市教育委員会 社会教育部 文化振興課)

## 雄武町

### ● ホタテ稚貝養殖施設の損傷に係る復旧及び水産資源の資源量調査の効率化

- 雄武町については、水産業を基幹産業とし、特にホタテ貝の生産においては、例年、水揚量の大半を占める主要漁業としております。ホタテ貝の生産は、稚貝育成から放流までの臨採体制をとっておりますが、中間育成施設の上ブロック網の断裂により、稚貝育成籠が海底に沈んでしまう事案が毎年発生しております。ホタテ貝生産の安定化のため、育成籠引上げ及び水産資源の調査の効率化のため水中ドローンの開発を求めています。

(担当：雄武町 産業振興課 水産係)

## 帯広市

### ● フードバレーとかちで取り組む「食」と「農林漁業」

- 「フードバレーとかち」は、「農林漁業を成長産業にする」「食の価値を創出する」、「十勝の魅力を売り込む」という3つの柱で取り組みを十勝19市町村一体となって進めています。十勝が食と農林漁業に関わる産業の集積地になることを目指しています。食と農林漁業、関連産業に関するアイデアをお待ちしています。

(担当：帯広市 経済部 経済室 経済企画課)

## 北広島市

### ● ゼロカーボンシティ実現に向けて

- 国は、2050年ゼロカーボン達成を目標に掲げており、北広島市においても市域の温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロを目指すことを検討しておりますが、施設への再エネ導入や、森林資源活用等に向けては、市域の気象条件や、技術面、費用面等で様々な課題があります。

これらの課題を解決し、ゼロカーボン実現に向けた施策の展開に役立てたいです。

(担当：北広島市 市民環境部 環境課)

## 釧路市

### ● 持続可能な酪農・畜産の実現に向けた課題解決

- 釧路市の農業の基幹である酪農は牧草栽培による飼養体系が確立しており、優秀な乳牛の導入・大型作業機械の共同購入・作業の協業化など、経営の合理化と充実に努めている。そういった中で、放牧酪農を中心とした、酪農畜産の生産現場や営農支援施設である市営牧場の人手不足の課題解決や省力化を実現する技術、IT技術を活用した農産品の高付加価値化につながるアイデアを求めています。

(担当：釧路市 産業振興部 農林課)

## 富良野市

### ● ゼロカーボンシティ実現に向けたエネルギー循環の仕組みづくり

- 昨年4月に2050年ゼロカーボンシティ実現を表明。「脱炭素ロードマップ」を策定中であり、今後、市民への行動変容の促しや様々な再エネ導入を推進していく予定です。小水力の活用や、未利用地を活用したメガソーラーの設置、家畜ふん尿や木質、生ごみ等のバイオマス資源による発電などにおいて、共通の課題は「作ったエネルギーをどう運ぶのか?」「余剰分をどう有効活用するのか?」であります。例として、エネルギーを生む農村部と需要地である市街地のエネルギー輸送の課題について議論したいです。

(担当：富良野市 市民生活部 環境課 環境係)